

平成26年度 行政評価の取組結果 (技術監理室)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度		H25年度	人件費 (目安)			H26年度				H28年度 施策の方向性
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業 評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由および課題	
I-2-(3)-② 技術・技能を 継承する人材 の育成	明日の公共事業を支える 人材確保・育成事業	技術企 画課	建設業の若年就業者の減少により、インフラの維持管理に関する担い手不足が懸念されるなか、建設技術の魅力を発信し、公共事業への理解をより深めることで、将来にわたる建設業の人材確保・育成を図る。	建設業に対する関心度 (イベント参加者アンケートによる)	70% (H26年度)	目標 70 %	実績 86 %	—	2,800	2,456	—	5,400	課長 0.10 人	順調	イベント参加者の86%の方が建設業への関心を示しており、事業は順調であると判断。	順調	【評価理由】 イベント参加者の86%の方が建設業への関心を示しており、事業は順調であると判断。  【課題】 これらの取組みを、いかに幅広く市民の方に浸透させていくかが今後の課題。	建設業の魅力向上のためには、地道な広報活動が必要であり、H28年度も継続して実施。	
			達成率	122.9 %					職員 0.30 人										
V-3-(1)-① 都市基盤・施設 の適正な整備	公共工事安全対策強化事業	検査課	市が実施する公共工事の安全対策強化のため、安全指導を専門とする安全パトロール隊を設置し、事故の抑制を図る。	市発注工事における事故件数	15件 (H26年度)	目標 15 件以下	実績 24 件	13件 (H29年度)	3,000	1,160	—	42,900	課長 0.10 人	順調	目標達成は出来なかったが、不安全箇所への指導がより多く出来たことから、順調と判断。	順調	【評価理由】 不安箇所等の改善について、監督員及び受注者への指導がより多く出来たことから、順調と判断。  【課題】 点検件数について、月毎のバラツキが生じているのが、課題。	稼働している現場の市監督員並びに受注者を指導し、不安箇所等を改善させることで、即時的に事故の抑制を図る。また、建設現場の現状を把握し、整理・分析を行った上で、今後の市監督員並びに受注者の指導・育成に活用する。	
			達成率	— %						係長 1.10 人									
										職員 4.10 人									
VI-3-(3)-② 建設リサイクル の推進	【施策評価のみ】 建設リサイクルの推進	技術企 画課	【施策の内容】 北九州市発注の公共工事を対象に、建設副産物の発生抑制や建設廃棄物の再資源化の徹底、再資源化された建設リサイクル資材の利用促進に取り組む。	【施策の指標】 建設廃棄物の再資源化率	95.0% (H26年度)	目標 95.0 %	実績 100.0 %	—	—	—	—	—	課長 — 人	—	—	順調	【評価理由】 昨年度に引き続き平成26年度も目標を達成しており、順調であると判断。	前年度に引き続き、建設廃棄物の再資源化率の目標達成を目指す。	
				達成率	105.3 %	95.0 %	105.2 %						係長 — 人						
													職員 — 人						